

ダイワ／アムンディ 食糧増産関連ファンド

運用報告書（全体版） 第8期

（決算日 2019年6月12日）

（作成対象期間 2018年6月13日～2019年6月12日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2011年6月13日～2021年6月11日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数(円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
4期末(2015年6月12日)	円 13,104	円 1,300	% 22.8	21,334	% 23.7	% 0.3	% 96.7	百万円 2,849
5期末(2016年6月13日)	10,466	0	△20.1	17,256	△19.1	0.1	98.7	1,908
6期末(2017年6月12日)	11,134	700	13.1	20,647	19.6	0.0	98.7	1,659
7期末(2018年6月12日)	11,833	100	7.2	23,035	11.6	－	99.5	1,394
8期末(2019年6月12日)	11,396	0	△ 3.7	22,836	△ 0.9	－	99.1	1,100

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数(円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIコクサイ指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIコクサイ指数(米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

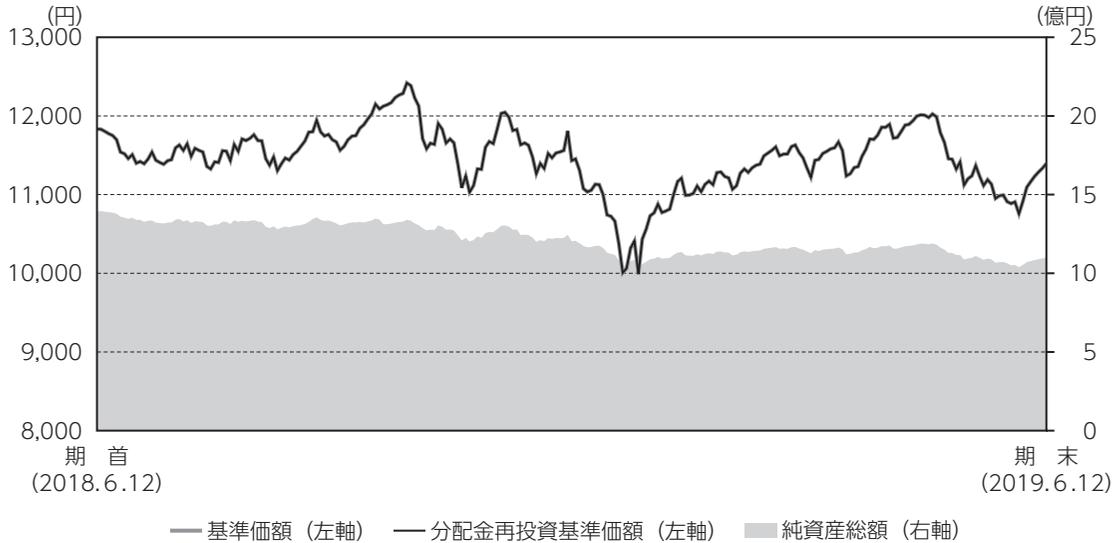
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,833円

期末：11,396円（分配金0円）

騰落率：△3.7%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

保有する北米や欧州企業の株価はまちまちの動きとなったものの、主要通貨に対して円高が進行したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数(円換算)		公 社 債 組 入 比	投 資 組 資 益 入	信 託 証 比	託 券 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率				
(期首) 2018年 6月12日	円 11,833	% -	23,035	% -	% -		% 99.5	
6月末	11,450	△ 3.2	22,391	△ 2.8	-		99.5	
7月末	11,432	△ 3.4	23,259	1.0	-		99.5	
8月末	11,796	△ 0.3	23,699	2.9	-		98.6	
9月末	12,169	2.8	24,282	5.4	-		99.5	
10月末	11,326	△ 4.3	22,116	△ 4.0	-		99.4	
11月末	11,542	△ 2.5	22,568	△ 2.0	-		99.8	
12月末	10,409	△12.0	20,177	△12.4	-		99.1	
2019年 1月末	11,171	△ 5.6	21,447	△ 6.9	-		99.1	
2月末	11,514	△ 2.7	22,726	△ 1.3	-		98.7	
3月末	11,485	△ 2.9	22,828	△ 0.9	-		98.7	
4月末	11,787	△ 0.4	23,808	3.4	-		98.8	
5月末	10,908	△ 7.8	22,199	△ 3.6	-		99.0	
(期末) 2019年 6月12日	11,396	△ 3.7	22,836	△ 0.9	-		99.1	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.6.13～2019.6.12)

■株式市況

グローバル株式市場は小幅に下落しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、好業績の米国大型株がけん引して堅調に推移しましたが、2018年10月に入ると金利上昇や米中貿易摩擦の悪影響が懸念されて反落し、12月には全面安となりました。2019年1月以降は米中通商協議への期待や米国の利上げ停止観測を背景に反発しましたが、5月以降は米中関係の悪化が逆風となり、変動の大きな展開となりました。

畜産においては、動物向けの飼料・フードや医薬品関連が好調でした。豚コレラの影響で供給が減った豚肉価格が上昇し、それが鶏肉価格にも追い風となり、鶏肉生産銘柄や養殖関連中心に堅調でした。穀物市場では過去数年の豊作で在庫率が高く、特に大豆は豚コレラの流行などで飼料需要が減ったことが逆風となっていました。米中貿易摩擦の激化で一段安となりました。しかし、2019年3月以降は米国の穀倉地帯で洪水被害が深刻化し生産に影響するとの観測から、主要穀物価格は反発しました。砂糖はおおむね安値圏となり、パーム油も低迷が続きました。飼料需要の減少は、圧搾・加工などを手掛ける農業サービス関連の銘柄に逆風となりました。肥料価格の反発基調は2018年後半以降弱まり、特にリン酸肥料価格は中国の輸出増が逆風となり下落しました。農業機械は、需要の底入れ観測が当作成期前半の追い風となりましたが、米中関係が悪化した2019年5月に大きく下落しました。企業の再編で競争環境が改善した農業化学でも、景気感応度の高い事業を持つ企業は低迷しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

高水準の穀物生産量と価格の低位推移という状況が恩恵となる農業サービスと畜産のほか、需給改善が期待される肥料関連の組入比率を高位としています。穀物価格が上昇トレンドに転じる見込みが強まれば、肥料のほかに農業機械や農業化学などの配分を引き上げていく方針です。ただし、個別には米中貿易摩擦の影響が大きい銘柄もあり、米中の交渉進展状況や穀物価格のトレンド、株価バリュエーションなどを注視して、組入比率とセクター配分を調整していく方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018.6.13~2019.6.12)

■当ファンド

当ファンドは、「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」の受益証券を高位に組み入れました。

■アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

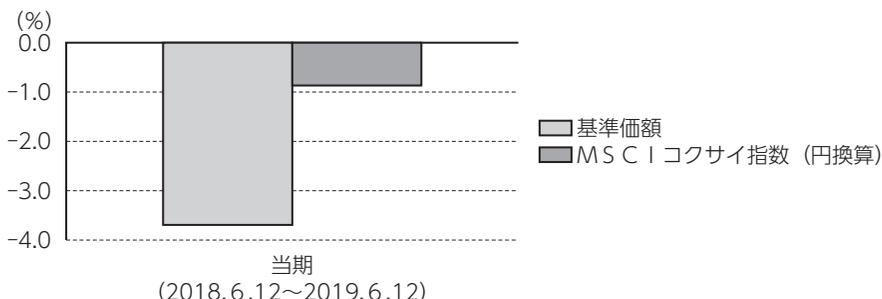
当作成期は、当作成期首から農業サービスの高い組み入れを維持しましたが、業績不振銘柄を一部売却し、2019年1月以降は比率を下げました。一方、畜産関連は2019年の年明け以降徐々に組み入れを拡大し、当作成期末には組入比率最大のセクターとなりました。畜産ではMOWI（MARINEHARVESTから社名変更したノルウェーの養殖大手）に再投資し、EVONIK INDUSTRIES（飼料用栄養補助剤などに強みを持つドイツの特殊化学会社）に新規投資しました。肥料関連は、11月以降はMOSAIC（世界肥料売上シェアトップクラスの米国企業）などを中心に比率を下げました。農業機械では、GEA GROUP（酪農・食品加工・醸造などに強いドイツの機械メーカー）などに新規投資する一方、CNH INDUSTRIAL（オランダ国籍の農業機械メーカー）など既存銘柄を一部売却し、AGCO（米国の農業機械メーカー）の組み入れを半減して比率を引き下げました。地域別では北米の比率が低下し、それ以外の地域が上昇しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2018年6月13日 ～2019年6月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,354

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

世界景気および農業関連株式の不透明感が強まっています。当ファンドは、米中通商協議の最終結果を見届けるまでは、農業機械などダウンサイドリスク（下振れリスク）の大きいセクターや個別銘柄への大きな集中投資を避け、慎重な運用を継続する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.6.13~2019.6.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	134円	1.172%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,458円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.378)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(87)	(0.756)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0.038)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	135	1.180	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年6月13日から2019年6月12日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	アムンディ・アグリ・アップ ストリーム株 ファンド (適格機関 投資家専用)	19,090.965	33,000	169,893.652	292,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年6月13日から2019年6月12日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 1,030	百万円 350	% 34.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	17,929,019	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	241,999	-	-	241,999	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビ
ーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払い比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アムンディ・アグリ・アップスト リーム株ファンド (適格機関投資家専用)	千口 632,058.382	千円 1,089,984	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 164	千口 164	千円 167

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,089,984	% 98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	167	0.0
コール・ローン等、その他	16,570	1.5
投資信託財産総額	1,106,722	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年6月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,106,722,642円
コール・ローン等	16,570,313
投資信託受益証券(評価額)	1,089,984,679
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	167,650
(B) 負債	6,625,560
未払信託報酬	6,580,121
その他未払費用	45,439
(C) 純資産総額(A - B)	1,100,097,082
元本	965,311,488
次期繰越損益金	134,785,594
(D) 受益権総口数	965,311,488口
1万口当り基準価額(C / D)	11,396円

* 期首における元本額は1,178,109,249円、当作成期間中における追加設定元本額は61,826,440円、同解約元本額は274,624,201円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,396円です。

■損益の状況

当期 自2018年6月13日 至2019年6月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,904円
受取利息	924
支払利息	△ 9,828
(B) 有価証券売買損益	△ 27,847,625
売買益	11,324,208
売買損	△ 39,171,833
(C) 信託報酬等	△ 14,317,318
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 42,173,847
(E) 前期繰越損益金	129,204,129
(F) 追加信託差損益金	47,755,312
(配当等相当額)	(78,022,449)
(売買損益相当額)	(△ 30,267,137)
(G) 合計(D + E + F)	134,785,594
次期繰越損益金(G)	134,785,594
追加信託差損益金	47,755,312
(配当等相当額)	(78,022,449)
(売買損益相当額)	(△ 30,267,137)
分配準備積立金	149,301,562
繰越損益金	△ 62,271,280

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	78,022,449
(d) 分配準備積立金	149,301,562
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	227,324,011
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	227,324,011
(h) 受益権総口数	965,311,488口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワノアムンディ食糧増産関連ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年6月12日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を10ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年6月13日から2019年6月12日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
757	国庫短期証券 2018/8/13	400,002			
801	国庫短期証券 2019/3/18	350,004			
731	国庫短期証券 2018/7/10	280,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年6月12日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（64,884,711千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年6月12日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,998	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

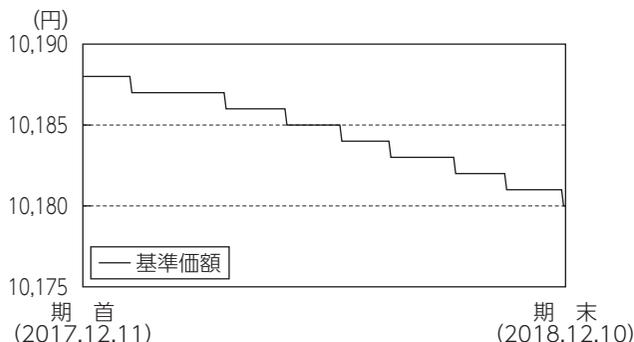
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年 1 月末	10,187	△0.0	-
2 月末	10,187	△0.0	0.5
3 月末	10,186	△0.0	-
4 月末	10,186	△0.0	-
5 月末	10,185	△0.0	-
6 月末	10,184	△0.0	-
7 月末	10,184	△0.0	-
8 月末	10,183	△0.0	-
9 月末	10,182	△0.1	-
10 月末	10,181	△0.1	-
11 月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期 末	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期		期 末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%		%
国内短期社債等	999,997	<1.2>		

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%		%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0		
投資信託財産総額	80,270,040	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	期 末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円	

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/R I C I*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの一步- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、フルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

アムンディ・アグリ・
アップストリーム株ファンド
(適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第8期 (決算日 2019年1月25日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2011年6月14日から2021年6月10日までです。
運用方針	日本を除く世界の上場株式等を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用に当たっては、CPRアセットマネジメントに外貨建資産の運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	日本を除く世界の上場株式等
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎決算時(年1回、原則毎年1月25日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス : <https://www.amundi.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	株 式 組 入 率 比	純 資 産 額 総
4期（2015年1月26日）	16,530	0	26.3	94.7	3,027
5期（2016年1月25日）	13,498	0	△18.3	94.7	1,923
6期（2017年1月25日）	16,066	0	19.0	99.7	1,707
7期（2018年1月25日）	18,676	0	16.2	94.5	1,481
8期（2019年1月25日）	16,589	0	△11.2	94.0	1,100

(注) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

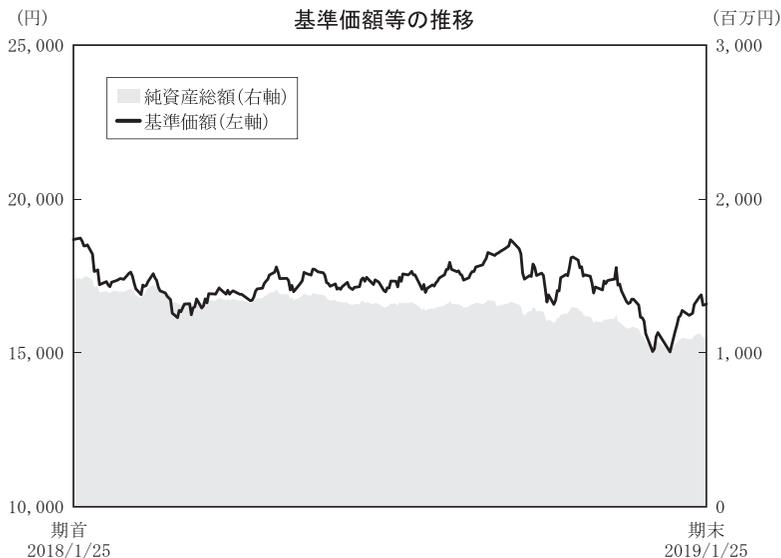
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 率 比
(期 首) 2018年1月25日	18,676	—	94.5
1月末	18,482	△ 1.0	94.6
2月末	17,488	△ 6.4	95.3
3月末	16,583	△11.2	95.0
4月末	17,014	△ 8.9	95.1
5月末	17,191	△ 8.0	94.6
6月末	17,155	△ 8.1	94.6
7月末	17,146	△ 8.2	92.9
8月末	17,713	△ 5.2	94.8
9月末	18,291	△ 2.1	97.5
10月末	17,021	△ 8.9	93.8
11月末	17,368	△ 7.0	94.2
12月末	15,660	△16.1	95.3
(期 末) 2019年1月25日	16,589	△11.2	94.0

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第8期首	18,676円
第8期末	16,589円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△11.2%



【基準価額の主な変動要因】

下落要因

- ①2018年2月から3月前半にかけて、世界的に株価が急落し、円高が進行したこと
- ②2018年10月に世界的な株安となったこと
- ③2018年12月に世界的な株安となり、円高が進行したこと
- ④当期前半に新興国の組入銘柄が大きく下落したこと

上昇要因

- ①2018年3月後半から9月にかけて米ドルが強含んだこと
- ②2018年4月から9月にかけて、肥料、農業化学、農業サービス関連の組入銘柄が堅調に推移したこと
- ③2018年末から当期末にかけて、株価が全面的に反発したこと

【投資環境】

<グローバル株式市場>

グローバル株式市場は、金利上昇に対する警戒などから2018年2月に急落しました。米中貿易摩擦も懸念材料でしたが、4月に入ると、米中歩み寄りへの期待やユーロ安を好感し、欧州中心に株価は反発に転じました。その後欧州では政治的不透明感が強まり、株価は6月以降横ばいとなりましたが、米国株は情報技術の大型株の好業績を支えに9月まで上昇基調が続きました。一方、新興国では通貨防衛のための利上げなどが株価の足かせとなり、4月以降も軟調に推移しました。10月になると、米中貿易摩擦の実体経済への悪影響が表面化して株価は世界的に急落、12月には米国の政府機関の一部閉鎖なども嫌気されて一段安となりましたが、12月末以降、米国の利上げ停止期待が高まったことや、割安感から株式は買い戻され、下落幅を縮めて当期末を迎えました。セクター別では、金融のほか、景気循環色の強いセクターが通期で大きく下落した一方、公益が堅調でした。

<農業関連株式市場>

穀物価格はまちな動きで、欧州の生産が予想を下回った小麦は安値から反発、需要良好なコーンも比較的堅調でしたが、米国での作付が拡大した大豆は米中摩擦の影響もあり下落しました。米国の農家の所得はコスト上昇などからやや悪化したとみられます。農業関連株式の中では、需給改善期待で4月から9月にかけて上昇した肥料関連が通期ではほぼ横ばいと相対的にもっとも堅調でした。一方、畜産は米国での鶏肉の供給過剰や、米中貿易摩擦による中国の豚肉輸入関税引き上げなどが大きな打撃となりました。また、景気感応度の高い事業を持つ一部の農業機械関連銘柄も、世界景気の減速が逆風となりました。農業サービスでは、大豆やトウモロコシの加工・精製の利益率が悪化して大きく下落する銘柄がみられました。農業化学ではモンサントの買収が完了しました。

<為替市場>

株式や債券市場が大きく崩れたことを受けてリスク回避姿勢が強まった当期初の為替市場では、円が全面高となりましたが、2018年3月後半からは利上げ継続を背景に米ドルが独歩高となりました。米国の利上げは新興国からの資金流出を招き、新興国通貨は大きく下落、欧州通貨も政治的不透明感が足かせとなり軟調に推移しました。秋口には新興国通貨は対米ドルで安定してきたものの、それまでの利上げや米中貿易摩擦で、世界経済の減速懸念が強まりました。12月には米国でも減速への警戒が強まった上、米政府機関の一部閉鎖、株式市場の急落などが再び円高を招きました。結局、円は対米ドルではほぼ期初と同じ水準に回帰しましたが、その他の主要通貨に対しては大幅な円高のまま、当期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

当ファンドは、主として日本を除く世界の農業関連企業の中から主に川上分野の企業の上場株式等に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行いました。当ファンドの運用方針に基づき、株式の組入比率は高位を維持しました。

基準価額は、当期初、期中高値を記録した後、金利上昇を懸念した株価急落とリスク回避の円高進行を受けて2月に急落、米中貿易摩擦への警戒もあって3月下旬にはさらに下落しました。

4月以降、基準価額は反発に転じたものの、新興国の組入銘柄の低迷が引き続き足かせとなりました。セクター別にみても、4月以降は買収の材料があった農業化学、需給改善期待の肥料、好業績の農業サービスが発した一方、畜産、農業機械、農産物関連は低迷が続きました。

10月に入り基準価額は期初の水準近くまで戻したものの、個別に好材料のあった農産物関連銘柄以外が再び急落、12月には再び全面安の展開となり、基準価額は2019年に入り期中安値まで下落しました。株式要因は12月下旬、為替要因は1月上旬を底に回復に転じたものの、結局、基準価額は前期末比で10%超下落して当期末を迎えました。通期ではすべてのセクターがマイナス寄与となり、特に畜産、農業機械、農業サービスのマイナスが大きなものとなりました。為替要因は、欧州通貨が大きなマイナスとなりました。

ポートフォリオでは、BRFの全売却、タイソン・フーズ、ヴィスコファンの一部売却などで、畜産の組入比率を引き下げました。農業化学もモンサントが買収されたため、比率が低下しました。一方、肥料ではモザイクなどの買い増しで比率を引き上げ、農業機械もディアなど中心に比率を引き上げました。

（CPRアセットマネジメント）

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の投資環境見通し】

<グローバル株式市場>

米国の減税効果の剥落や、これまでの利上げや米中摩擦の影響で、世界経済の成長は2019年に減速することが見込まれ、企業業績予想も下方修正されると思われます。2018年10月から12月にかけての急落で、株価に割高感はなく、また、FRB（米連邦準備理事会）の金融政策がより柔軟なものとなる可能性も株価を支えると思われますが、年度決算の発表が一巡し、業績予想の修正が一段落するまで、投資家は慎重な姿勢を維持するものと思われます。

<農業関連株式市場>

穀物の在庫量は豊富で、穀物価格に目先大きな変動はないとみられます。農家の収益性はピーク時を大きく下回っており、農業化学や農業機械関連の需要回復は緩やかなものにとどまるとみられます。これらのセクターでは、世界景気の減速も逆風になる可能性があります。一方、供給サイドの調整によって需給バランスが改善した肥料価格は反発基調が続くそうです。

農業サービスでは、豊作を背景とした数量増が期待できる企業や、消費者の嗜好の変化を追い風とする企業が有望と思われます。畜産セクターでは、豚肉、牛肉などのセグメントごとに見通しはまちまちですが、飼料とアニマルヘルスの見通しは引き続き良好です。

（CPRアセットマネジメント）

【今後の運用方針】

ポートフォリオでは、消費パターンの変化に対応して売上げを拡大している添加物・機能成分メーカーや、肥料や穀物輸送の増加が寄与して設備稼働率が改善している鉄道会社など、農業サービス関連銘柄の高い組入れを維持する方針です。需給改善が恩恵となる肥料関連をこれに次ぐ高い組入れとします。畜産関連では、飼料、アニマルヘルス関連銘柄のほか、新興国の需要拡大が恩恵となる銘柄に注目しています。農業機械の比率は4番手にとどめ、農業化学と農産物関連の組入れも限定的なものにとどめる方針です。

（CPRアセットマネジメント）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 8 期 (2018年1月26日 ～2019年1月25日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	139円 (130) (1) (7)	0.805% (0.756) (0.005) (0.043)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.020 (0.020)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.017 (0.017)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	24 (21) (2) (1)	0.137 (0.124) (0.010) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	169	0.979	

期中の平均基準価額は17,259円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況（2018年1月26日から2019年1月25日まで）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	ア メ リ カ	百株 491 (90)	千米ドル 2,572 (483)	百株 885	千米ドル 4,423
	カ ナ ダ	211	千カナダドル 1,610	61 (90)	千カナダドル 516 (596)
国	ユ		千ユーロ 292	—	千ユーロ —
	ド イ ツ		9	46	—
	フ ラ ン ス		(0.93)	(—)	—
	オ ラ ン ダ		140	221	299
ロ	ス ペ イ ン	3	19	41	226

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

			買 付		売 付	
			株 数	金 額	株 数	金 額
外	ユ ー ロ	オーストリア	百株 — (4)	千ユーロ — (10)	百株 1 (1)	千ユーロ 10 (10)
		アイルランド	18	46	132	203
国		イギリス	69	千英ポンド 152	205	千英ポンド 269
		ノルウェー	84	千ノルウェークローネ 1,855	55	千ノルウェークローネ 2,161
		香港	280	千香港ドル 229	1,310	千香港ドル 1,224
		シンガポール	58	千シンガポールドル 9	982	千シンガポールドル 161

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,287,601千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,243,010千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)/(b)	1.03

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■主要な売買銘柄（2018年1月26日から2019年1月25日まで）

株 式

銘 柄	買 付			売 付			
	株数	金 額	平均単価	銘 柄	株数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
NUTRIEN LTD(カナダ)	20	127,755	6,387	NUTRIEN LTD(アメリカ)	21	136,146	6,252
DOWDUPONT INC(アメリカ)	6	47,540	7,428	MONSANTO(アメリカ)	6	85,741	13,829
MOSAIC CO/THE(アメリカ)	15	47,276	3,089	TYSON FOODS 'A'(アメリカ)	5	35,387	6,805
DEERE(アメリカ)	1	29,811	17,535	VISCOFAN SA(ユーロ・スペイン)	4	29,323	7,020
ARCHER-DANLS.-MIDL.(アメリカ)	4	21,147	4,699	BUNGE LTD(アメリカ)	4	28,939	6,730
TRIMBLE INC(アメリカ)	4	20,912	4,647	DEERE(アメリカ)	1	28,870	16,982
EVONIK INDUSTRIES AG(ユーロ・ドイツ)	4	19,614	4,167	CNH INDUSTRIAL NV(ユーロ・オランダ)	23	28,768	1,207
CNH INDUSTRIAL NV(ユーロ・オランダ)	12	18,993	1,488	CANADIAN NATL RAILWAY CO(カナダ)	3	28,573	7,936
GEA GROUP AG(ユーロ・ドイツ)	6	18,179	2,926	GLANBIA PLC(ユーロ・アイルランド)	13	25,824	1,944
ASSOCIATED BRITISH FOODS PLC(イギリス)	5	18,034	3,421	INGREDION INC(アメリカ)	2	25,140	11,971

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨建金額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド (適格機関投資家専用)

■利害関係人との取引状況等 (2018年1月26日から2019年1月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2019年1月25日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
AGCO CORP	35	35	215	23,700	資本財	
ARCHER-DANLS.-MIDL.	133	161	703	77,177	食品・飲料・タバコ	
DEERE	59	59	934	102,606	資本財	
FMC CORP	35	43	334	36,722	素材	
HORMEL FOODS CORP	20	55	228	25,103	食品・飲料・タバコ	
MCCORMICK & CO NV.	6	2	24	2,729	食品・飲料・タバコ	
BRF SA-ADR	231	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
MONSANTO	54	—	—	—	素材	
BUNGE LTD	122	93	493	54,197	食品・飲料・タバコ	
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	11	16	323	35,495	運輸	
TYSON FOODS 'A'	110	74	445	48,916	食品・飲料・タバコ	
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	123	101	416	45,744	素材	
MOSAIC CO/THE	29	138	427	46,974	素材	
INGREDION INC	40	20	194	21,396	食品・飲料・タバコ	
ZOETIS INC	42	23	192	21,121	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NUTRIEN LTD	120	—	—	—	素材	
DOWDUPONT INC	—	43	242	26,588	素材	
(アメリカ・・・米国店頭市場)						
TRACTOR SUPPLY CO	17	6	52	5,768	小売	
TRIMBLE INC	—	45	165	18,133	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
PILGRIM'S PRIDE CORP	58	7	13	1,458	食品・飲料・タバコ	
(アメリカ・・・ロンドンインターナショナル市場)						
PHOSAGRO OAO-GDR	234	255	346	38,054	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	1,480 19	1,176 18	5,756 —	631,890 <57.4%>	
(カナダ・・・トロント市場)						
CANADIAN NATL RAILWAY CO	38	13	142	11,714	運輸	
NUTRIEN LTD	90	175	1,190	97,937	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	128 2	188 2	1,333 —	109,651 <10.0%>	
(ユーロ・・・ドイツ)						
GEA GROUP AG	—	62	151	18,754	資本財	
EVONIK INDUSTRIES AG	—	47	109	13,621	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	— —	109 2	260 —	32,376 <2.9%>	

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

銘柄		期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ユーロ・・・フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円		
VILMORIN & CIE		—	10	60	7,463	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	10	60	7,463		
	銘柄数 < 比率 >	—	1	—	<0.7%>		
(ユーロ・・・オランダ)							
KONINKLIJKE DSM NV		31	37	297	36,957	素材	
CNH INDUSTRIAL NV		223	112	98	12,249	資本財	
CORBION NV		53	—	—	—	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	308	149	396	49,206		
	銘柄数 < 比率 >	3	2	—	<4.5%>		
(ユーロ・・・スペイン)							
VISCOFAN SA		40	1	9	1,124	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	40	1	9	1,124		
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	<0.1%>		
(ユーロ・・・オーストリア)							
AGRANA BETEILIGUNGS AG		2	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
AGRANA BETEILIGUNGS AG		—	4	7	923	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	2	4	7	923		
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	<0.1%>		
(ユーロ・・・アイルランド)							
GLANBIA PLC		132	15	26	3,343	食品・飲料・タバコ	
KERRY GROUP 'A'		26	29	263	32,658	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	158	44	290	36,002		
	銘柄数 < 比率 >	2	2	—	<3.3%>		
ユ ー ロ 計		509	320	1,024	127,096		
		7	9	—	<11.5%>		
(イギリス・・・英国市場)				千英ポンド			
ASSOCIATED BRITISH FOODS PLC		141	143	339	48,846	食品・飲料・タバコ	
TATE & LYLE		173	41	29	4,176	食品・飲料・タバコ	
CRODA INTERNATIONAL PLC		47	41	196	28,335	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	362	226	565	81,358		
	銘柄数 < 比率 >	3	3	—	<7.4%>		
(ノルウェー・・・オスロ市場)				千ノルウェークローネ			
YARA INTERNATIONAL		49	25	884	11,309	素材	
MOWI ASA		—	63	1,195	15,291	食品・飲料・タバコ	
SALMAR ASA		9	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	59	88	2,079	26,600		
	銘柄数 < 比率 >	2	2	—	<2.4%>		
(香港・・・香港市場)				千香港ドル			
WH GROUP LTD		6,405	5,375	3,676	51,434	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	6,405	5,375	3,676	51,434		
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	<4.7%>		

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

銘柄		期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
			株 数	株 数	評 価 額		
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
(シンガポール・・・シンガポール市場) FIRST RESOURCES LTD		百株 1,424	百株 500	千シンガポールドル 85	千円 6,901	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,424	500	85	6,901		
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	<0.6%>		
合 計	株 数 ・ 金 額	10,368	7,875	—	1,034,933		
	銘柄数 < 比率 >	35	36	—	<94.0%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) —印は組入れなしです。

■投資信託財産の構成（2019年1月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
株 式	1,034,933	93.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	70,768	6.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,105,701	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産（1,099,498千円）の投資信託財産総額（1,105,701千円）に対する比率は99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年1月25日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=109.77円、1カナダドル=82.24円、1ユーロ=124.07円、1英ポンド=143.86円、1ノルウェークローネ=12.79円、1香港ドル=13.99円、1シンガポールドル=80.72円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2019年1月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,108,027,052円
コール・ローン等	58,027,903
株 式(評価額)	1,034,933,950
未 収 入 金	14,251,756
未 収 配 当 金	813,443
(B) 負 債	7,397,617
未 払 金	2,325,232
未 払 信 託 報 酬	5,008,444
そ の 他 未 払 費 用	63,941
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,100,629,435
元 本	663,484,149
次 期 繰 越 損 益 金	437,145,286
(D) 受 益 権 総 口 数	663,484,149口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	16,589円

(注記事項)

期首元本額	793,011,662円
期中追加設定元本額	54,925,295円
期中一部解約元本額	184,452,808円

■損益の状況

当期 自2018年1月26日 至2019年1月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	23,588,227円
受 取 配 当 金	△ 68,403,597
受 取 利 息	765,279
そ の 他 収 益 金	4,155
支 払 利 息	91,222,390
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△145,186,638
売 買 益	80,862,581
売 買 損	△226,049,219
(C) 信 託 報 酬 等	△ 12,267,759
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△133,866,170
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	409,394,053
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	161,617,403
(配 当 等 相 当 額)	(145,098,712)
(売 買 損 益 相 当 額)	(16,518,691)
(G) 計 (D+E+F)	437,145,286
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	437,145,286
追 加 信 託 差 損 益 金	161,617,403
(配 当 等 相 当 額)	(145,098,712)
(売 買 損 益 相 当 額)	(16,518,691)
分 配 準 備 積 立 金	420,714,521
繰 越 損 益 金	△145,186,638

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
信託約款第42条に規定する計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年10,000分の28以内の率を乗じて得た金額を支払っております。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。